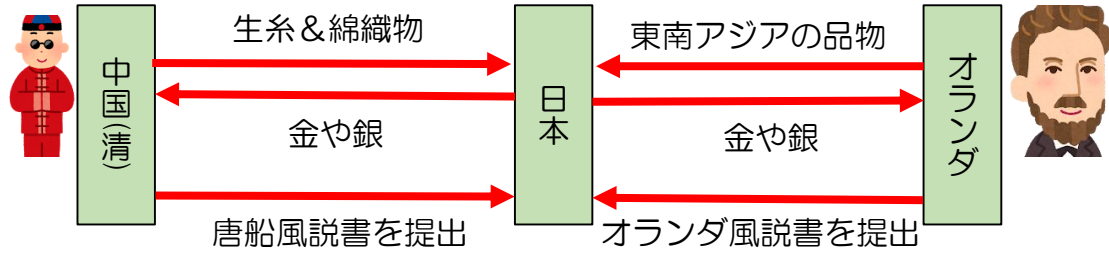


＜ 群馬県教育委員会 オンラインサポート授業 ＞
 社 会「鎖国下の対外政策」【要点資料】

★鎖国中の日本は、世界とどのように結ばれていたのか？

○中国とオランダ

- ・アジアの様子
- 1. 明が滅び、**清**が中国全土を支配する
- 2. 日本町が消滅する
- ・日本と中国（清）・オランダとの関係



↓これにより
幕府が、海外の情報を独占する!!

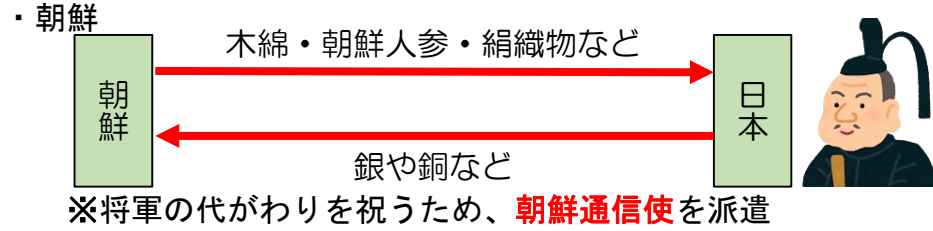
両国はキリスト教を布教しないので、**長崎の出島**などで貿易を許される

※中国（清）とオランダにとってのメリットは？

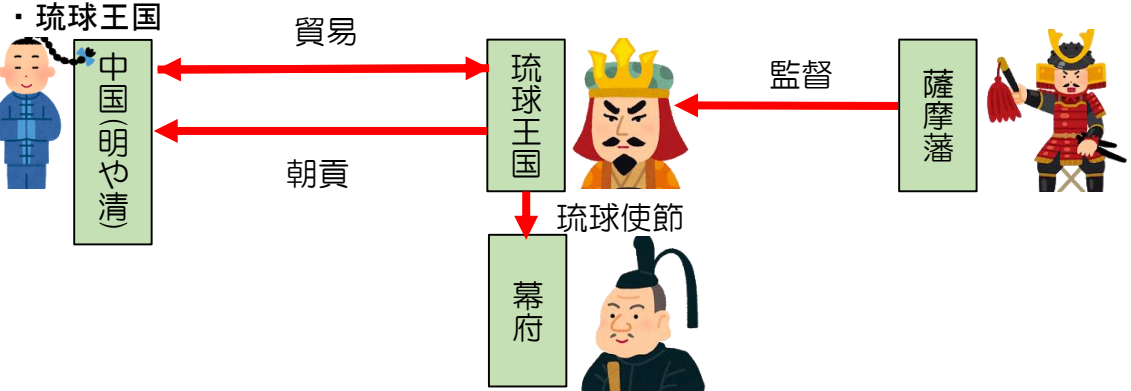
※幕府は、**金や銀**が大量に流出することは国の損失として次第に制限する

↓その後
銅や倭物が主流になっていく

○朝鮮と琉球王国



↑
 対馬藩の努力があった



○アイヌ民族との交易



松前藩が行っていた交易に不満をもち
 ↓反発
 戦いを起こす（**シャクシャイン**を中心として）

【まとめ】

- ①中国やオランダとは、**長崎の出島**などで貿易を続けた。
- ②朝鮮とは、**対馬藩**を介して貿易を行った。
- ③琉球王国とは、**薩摩藩**を通じてつながりをもっていた。
- ④蝦夷地のアイヌの人々とは、**松前藩**を通じて交易を行った。

鎖国下の日本には、
 一部、「4つの窓」が
 開いていた